



糸井さんと参加した選手たちとの記念撮影（左）／昨年の優勝チーム「加悦フレンズ」にレプリカを手渡す糸井さん（右）

ふるさとから「第2の糸井」が誕生することを楽しみにしています



糸井 嘉男（いとい よしお）

1981年生まれ 岩滝出身
宮津高校（現宮津天橋高校宮津学舎）卒業後、近畿大学に進学。4年生時には関西学生野球連盟春季リーグで5勝負けなしの成績でMVPを獲得し、2003年に自由獲得枠で北海道日本ハムファイターズに投手として入団。その後、野手に転向し才能が開花。首位打者・盗塁王・ゴールデングラブ賞を獲得するなど走攻守3拍子そろった選手として、オリックスバファローズ、阪神タイガースの3球団で活躍するも、今シーズンをもって惜しまれながら現役を引退。類まれなる身体能力からついた愛称は「超人」。

「これからも地元の子どもたちと触れ合う機会がありますか。そうですね、今日の大会の中から「第2の超人・糸井嘉男」が地元から出てきて欲しいですね。これから試合を見て僕がスカウトしていきます（笑）。——与謝野町の皆さんは糸井さんのことを応援してきました。皆さんに一言お願いします。ちっちゃいころから野球をやらせてもらった場所なので、すごい感謝しています。19年間もプロで頑張ったので、これからは地元の方たちに還元していきたいですし、また子どもたちが活躍する姿を楽しんでいます。」

「野球が大好き」と話す糸井さん。野球少年や少女の姿を見ると体がうずくのか、始球式後も試合観戦や試合前のチーム練習に参加してアドバイスをするなど、積極的に子どもたちと触れ合う姿が見られました。糸井さんと交流した子どもたちは「めっちゃ体が大きかった」「キャッチボールの球がすごかった」「憧れの糸井さんのようなプロ野球選手になるために、練習を頑張りたい」と話すなど、思い出に残る一日となりました。



野球少年・少女にとって思い出に残る一日に



岩滝少年野球クラブの皆さんと糸井さん（同クラブ提供）

岩滝少年野球クラブが 準優勝
10月29日・30日、宮津市民球場において、第43回宮津ライオンズ旗・糸井嘉男杯争奪宮津与謝地方少年少女野球大会（宮津ライオンズクラブ主催）が行われました。本大会には8チームが出場。初戦から熱戦が繰り広げられ、選手たちはチームメイトや保護者らの声援を受け、懸命に白球を追いかけました。準優勝を果たした岩滝少年野球クラブキャプテンの半海空大さんは「接戦でも諦めないプレーができました。次の大会も全員野球で優勝を目指したいです」と話してくれました。



「かっとなせー、糸井」
第43回宮津ライオンズ旗・糸井嘉男杯争奪宮津与謝少年少女野球大会の開始式に鳴り響くヒッティングマーチ。颯爽と登場したのは、元プロ野球阪神タイガースなどで活躍した糸井嘉男さん。始球式では、現役さながらの流れるような投球を披露し、会場は大きな拍手に包まれていました。

始球式でストライク投球を披露した糸井さん

与謝野町が誇るアスリート 2

元プロ野球 糸井 嘉男さん
阪神タイガース

— 与謝野町が誇るスーパースター —

力になった地元の声援

「19年間、本当にお疲れさまでした。改めて野球人生を振り返っていかげでしょうか。」

「すごい充実したというか、やりきれたなと思っています。苦しいこととかありましたが、19年間も好きな野球をやれたので、本当にスッキリしています。——引退試合に地元の応援団が行ってました。」

「気づいていました。いつも声援をもらって力になっていました。」

「子どものころの野球の思い出は。今日、久しぶりに宮津市民球場に来ましたし、少年野球チームのユニホームもあんまり変わってなくてめちゃくちゃ懐かしいです。ここで走ったりしてたので、すごい昔のことを思い出しますね。」

「これから野球少年も含めていろいろと野球に携わるお仕事をされると思います。これからはどういったことをやっていきたいでしょうか？」

「野球をここまでしてきたので、それを還元できるというか、子どもたちに伝えていけたらなと思います。自分自身も何ができるかを考えて挑戦していきたいと思っています。」